

高松市教育委員  
保健体育課長 殿

学校名 高松市立国分寺南部小学校  
校長名 山地 八重

公印  
省略

### 令和7年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、事業を実施したので、報告します。

学校の名称	高松市立国分寺南部小学校
派遣内容	防災教育～急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！！～
日時	令和7年9月24日(水) 13:00～13:45
場所	第1音楽室
対象者 参加人数	児童数 108名 クラス数 4クラス 教職員 4名 その他 0名
内容・日程等	5分 气象台について説明、今日の流れの説明 12分 OXクイズ + 解説 児童たちにOXを手を挙げて回答してもらい、その後正解を解説する形で進行。 12分 動画視聴(解説編) 7分 大雨・雷・竜巻の情報を得る方法の紹介(気象庁HP) 9分 質疑応答
取組における成果	<ul style="list-style-type: none"><li>・急な大雨、雷、竜巻といった局地的な気象現象に対する児童の危機意識を高めることができた。</li><li>・災害時に自分の命を守る方法を普段の生活と結び付けて具体的に考えることができた。</li><li>・クイズ形式で出題することによって、最後まで興味をもって聞くことができていた。</li><li>・大雨、雷、竜巻が起こった時の正しい避難の仕方を理解した。</li><li>・実際に大雨や雷の発生、高松での竜巻のニュースがあった時期の実施だったため、現実味のある内容となり、児童は真剣に取り組むことができていた。</li></ul> 
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・気象庁HPの説明をもう少し詳しく行うことで、子どもたちにもわかりやすくなり、利用するきっかけになると感じた。</li><li>・今回学んだことをもとに、今後「自分にできることは何か」を考える機会を設けていきたい。</li></ul>

注) 当日の写真、資料等がありましたら、A4縦で添付してください。

## 气象台の方から学んだこと...

今日、とっせんの大雨、雷、竜巻の対処法や身の守り方について学びました。大雨のときは、地下や橋の下には行かず、近くの1階以上の建物に行くと安全ということが分かりました。雷のときは、木の下などにひんせず、近くのしっかりとした建物にひんする事が分かりました。竜巻のときは、すぐにべんじょうな建物に行き、窓からはなれて身の安全を守る事が分かりました。今日、学んだことで「自分は大丈夫」と思わず、少しでも危かと思ふ時はすぐに自分の身を守るようにしたいです。これから毎日、天気予報や気象情報をチェックして気をつけて生活していきたいです。もしとっせんの大雨、雷、竜巻にあっても、油断せず冷静に対処していきたいと思ひます。

## 防災教室の話を書き

わたしは防災教室の話を書き、大雨、雷、竜巻のことが分かりました。まず大雨のことです。大雨がふったときは、なるべく近くにある建物の1階以上の場所にいるほうが良いと分かりました。雷は、近くのしっかりした建物にすこにひんすることです。ひんするときは、建物がかかれば、ほかの物より、しせいを低くするということが分かりました。竜巻は、すぐに元々な建物へひんし、その建物では、できるだけ窓からはなるということが分かりました。なので、出かける前には天気予報などのチェックをし、自分の家の周りなどのマップを事前にチェックをしておいて、大雨、雷、竜巻がおきても大丈夫なように、家の方をいっしょにかくにんしようと思ひました。

## 今日の防災学習で学んだこと

私は今日の防災学習で、色々なことを学びました。

その中でも特に大切ななと思ったことは、大雨や台風がきた時に「これくらいなら大丈夫だろう」と安心せずに、すぐに近くの建物にひたんで、安全な避難場所から大切ななと思いました。

私は今までずっと、雷が光ってから、10秒以上なら、大丈夫だろうと思っていました。けれど、10秒以上でも、雷が見えたり聞こえたりしたら、もう危ないから、これからは雷が見えたり聞こえたりしたら、すぐに近くの建物にひたんでしようと思います。家に帰ったら、家族みんなで、大雨や台風がきた時の避難場所などを改めて確認しようと思いました。

## 防災学習の感想

わたしは、大雨の時下校中などに低い建物にひたんだりしないので、走って帰っていたので、次からは気をつけたいです。

雷がなつた時木はダメと知っていたけど、金そくは関係ない

ことにびっくりしました。雷が光ってから10秒以上だと

「そろそろかな、おそろし」と思っていたけど音が聞こえたりした

時点で10km以内だとどこに落ちるか分からないということに

びっくりしました。竜巻は、強いのは知っていたけど動画を見て

木の板やまどがガラスにやわらかいので、割れるとこぼれおちなと思はれた。

正しい避難の仕方を覚えて自分は大丈夫と思わないでひたんでしようと思いました。